

第八編
年
表

第八編 年 表

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
昭和五二年	一九七七	1・16 1・17	第四五回全日本アイスホッケー選手権大会で王子製紙が優勝（二八回目）。 苫小牧沖で操業中のソ連漁船「セログロースカ号」が緊急入港、負傷の乗組員を市立総合病院に収容。
		2・11 2・26	苫小牧市夜間休日急病センターが祝日診療を開始。 相武吉治郎名誉市民死去（市葬は三月四日に行う）。
		3・7 3・25	女子アイスホッケーチームの苫小牧ベリグリン（平成三年岩倉ベリグリン）が発足。 錦大沼総合公園開設。
		4・1 4・8	苫小牧港が道内他港に先がけ入港料を徴収。 ・苫小牧市は老人医療無料化を六七歳から六五歳に引き下げて実施する。
		4・9 4・16	北星小学校開校（市内一六番目）。 苫小牧中心市街地再開発協議会（太田俊雄会長）が発足。
		4・25 5・3	錦岡鉄北東地区の土地区画整理事業で、ときわ町、澄川町が誕生。 苫小牧市が機構改革を行い、開発部を新設、企画部は市長公室に統合する。
		5・15 5・16	苫小牧港西港の公共岸壁「勇払一号岸壁」が完成し使用開始。 緑ヶ丘公園の展望台、大型遊具施設完成。
		7・12 8・12	北海道相互銀行苫小牧北支店開設。 ・苫小牧市は姉妹都市八王子市の本立寺（八王子千人同心千人頭原家の墓所）に「八王子千人同心顕彰之燈」一対を寄贈。
		9・1 9・27	北大苫小牧地方演習林の「森林観測塔と森林資料館」が完成。 苫小牧駅前駐車場管理会社創立。昭和五三年一二月トマックに委譲。
		9・30 10・1	苫小牧市中心障害者福祉センター開館。 駅前再開発が大詰めを迎え「渡辺待合」などが解体。 苫小牧市の人口が一四万人を超える。 錦多峰取水場と同浄水場が運転開始。

年 号	西 暦	月 日	で き ごと
昭和五二年	一九七七	10・8	錦岡土地区画整理組合が同事業の完成式行う。
		10・17	千歳信用組合山手支店開店。
		10・22	一条銀座アーケード全区間完成、アーケードまつりを開催。
		10・30	苦小牧市が造成を進めていた錦岡第二地区住宅団地の分譲開始。
		11・1	表町、王子町が住居表示実施。
		11・3	・苦小牧駅前ダイヤエーをキーテナントとする大型店「サンプラザ」がオープン。
		11・18	苦小牧市公民館が優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
		11・31	苦東への企業進出第一号、苦東厚真発電所が着工。
昭和五三年	一九七八	1・14	第二七回全国高校アイスホッケー選手権大会で苦小牧工業高が通算七度目の優勝。
		2・1	全国高校スケート大会で駒大苦小牧高女子が二年ぶり三度目の優勝。
		2・15	特別養護老人ホーム「陽明園」が緑星の里に開園する。
		2・24	苦小牧港とネーピア港の姉妹港縁組が成立、国際電話で姉妹港提携共同宣言に調印。
		3・11	中村清一郎（菱中興業相談役）の寄付で苦小牧市文化振興基金を新設する。
		3・30	苦小牧地方が三六年ぶりのドカ雪となり、積雪七七cmで史上最高を記録。
		4・1	苦小牧港東港作業船、たまり完成。
		4・7	民間委託を取り消し直営の苦小牧市第二学校給食共同調理場開設。
		4・11	明倫中学校開校、市内一番目。
		5・11	苦小牧南高校の新校舎（第一期工事）が完成し、同校で入学式行う。
		5・14	苦小牧駅前交通広場オープン。
		5・23	樽前山が二三年ぶりに小噴火、支笏湖畔に降灰。
		6・1	苦小牧市は噴火のため、樽前山登山を全面的に禁止する。
		6・5	苦小牧駅前駐車場ビルがオープン。
		6・6	苦小牧信用金庫光洋支店が開店（市内八番目の支店）。
		6・21	イトーヨーカドー苦小牧店開店。
			国鉄千歳線・室蘭本線の電化工事起工式を沼ノ端駅構内で行う。

第八編 年 表

昭和五三年	一九七八	昭和五四年	一九七九
7・1	9・1	12・20	12・28
9・15	10・16	3・1	3・8
9・15	10・16	3・14	3・14
9・15	10・16	4・4	4・4
9・15	10・16	4・7	4・7
9・15	10・16	4・9	4・9
9・15	10・16	4・10	4・10
9・15	10・16	4・12	4・12
9・15	10・16	5・23	5・23
9・15	10・16	5・11	5・11

市営バス駅前ターミナル着工。

市内双葉町に苦小牧プリンスホテルがオープン。

市内の自動車登録台数（軽自動車を含む）が八月末現在五万台突破。

苦小牧保健センターに併設の夜間休日急病センターが診療開始。

錦町地区再開発期成会が臨時総会を開き、再開発に向けスタート。

道央自動車道の苦小牧東インターチェンジと千歳インターチェンジ間開通。

千歳空港の南方移動に伴い苦小牧市航空騒音対策協議会が発足。

財団法人苦小牧保健センターがオープン。

苦小牧駅前バスターミナル開設（王子町から移転）。

苦小牧港西港東防波堤に完成した灯台が運用開始。

苦小牧駅前駐車場ビルが営業不振のため管理運営をトマックへ委譲。

苦小牧市消防署系井出張所が業務開始。

市消防署系井出張所で電送式による戸籍謄抄本、住民票、印鑑証明書の発行開始。

勇払下水道処理場完成。

王子製紙と日本バルブ工業が合併、会長に三嶋日バ社長、社長に田中王子社長が就任。

第二回全日本女子アイスホッケー選手権大会で苦小牧ベリグリンが初優勝。

苦小牧ニュージランド協会が発足。

北海道石油共同備蓄株式会社設立。

軽費老人ホームのアド・ネス園が開園。

札幌法務局苦小牧出張所が苦小牧支局に昇格。

澄川小学校開校。市内一七番目。

統一地方選の道議選苦小牧市部で宮本義勝（自・現）、橋浪蔵（無・新）が当選。

市内樽前ガロー地区が苦小牧市自然環境保全地区に指定。

苦小牧医師会付属高等看護学院開院。（昭和四五年四月准看護学院開院）

統一地方選第二弾で苦小牧市長に大泉源郎、市議三六名が当選。

会社経営再建のため名門岩倉組アイスホッケー部廃部と決定。

苦小牧市立総合病院内に虚弱児の院内学級開設。

年 号	西 暦	月 日	で き ご と
昭和五四年	一九七九	5・15 6・10	道内二番目の福祉ハイヤーが苦小牧でもスタート。 北大苦小牧地方演習林の新庁舎が完成。 ・新苦小牧川河川公園のサクラ並木造成工事完了。 苦小牧社会保険事務所開設し、二日から業務開始。 林重右衛門墓碑が有形文化財として市指定文化財となる。 苦小牧市高丘森林公園オープン。 苦小牧市議会が苦東開発第二段階計画を賛成多数で可決。 史上三番目の集中豪雨により市内各所で床上浸水し（一〇八戸）、列車も不通となる。 コンビニエンスストアのセイコーマートが苦小牧初上陸、「セイコーいけだ」開店。 苦小牧港建設顕彰碑の除幕式行い、港湾建設功績者表彰を行う。 ・東糸井（鉄北）地区に住居表示が実施され、豊川町、桜木町、しらかば町、日新町が誕生。光洋町、日吉町、永福町、小糸井町にも住居表示制度が実施される。 苦小牧市文化会館が完成、開館式と名誉市民故田中正太郎元市長の胸像除幕式を行う。 糸井シーアイタウン簡易郵便局開局。 千歳信用組合錦岡支店オープン。 第一四回全日本アイスホッケーリーグで王子製紙が六年ぶり四度目の優勝。 錦岡樽前神社の円空作権現像及び奉納品七点が市指定文化財となる。 錦岡スポーツセンター（室内リンク）オープン。（昭和五五年五月二三日温水プール） 駒大苦小牧高が全国高校選手権でアイスホッケーが三冠（全道・全国・国体）、女子スヒードスケートが総合優勝。 第三五回国体冬季スケート競技会が三〇年ぶりに苦小牧で開催。 市内樽前に軽費老人ホーム樽前慈光園が開園。 第四八回全日本アイスホッケー選手権大会で王子製紙が一回目の優勝、日本リーグと併せ二冠を達成。
昭和五五年	一九八〇	1・23 1・18 12・28 12・2 11・16 11・15 11・3	3・9 2・1 1・26

昭和五十六年 一九八一	昭和五十五年 一九八〇
1 23 1 21 1 18 12 23 12 16 12 4 11 25 11 3 10 31 10 29 10 27 10 24 10 6 10 1 9 20 8 7 5 12 4 21 4 14	4 1 岩倉組が不良資産の清算会社となり、負債清算のためホモゲン工場を分離して西港臨海部に移設、新会社岩倉組木材を設立する（宮腰裕吉社長）。 苦小牧市公害防止センター開設。 ・北海道立苦小牧地方環境監視センターが苦東地区に開設。 苦小牧市の人口が一五万人となる。一五万人目は大成町の高島大樹ちゃん。 ネーピア市議場で苦小牧市とネーピア市が国際姉妹都市の調印を行う。 心身障害者授産施設的美々川福祉園が開園。 錦町地区再開発事業の第一弾ホテルサンルートの完成式行い、翌日から営業開始。 沼ノ端拓勇樹林（三・八^七）を市自然環境保全地区に指定。 国鉄千歳線、室蘭本線の電化が開業、L特急ライラックが運転開始。 市はアイスアリーナ完成まで岩倉組体育館（スケート場）に助成金を支出して存続を決める。 苦小牧港東港に第一船「君島丸」（六九五^七）入港し、入船式行方。 苦小牧信用金庫沼ノ端支店開店（市内九番目の支店）。 道央自動車道の苦小牧西く苦小牧東インターチェンジ間一七・六kmが開通。 ・王子製紙苦小牧工場でN5マシン（日産三五〇^七）の竣工式行なう。 北電苦東厚真発電所一号機（出力三五万kW）が運転開始。 苦小牧郵便局の新局舎が開局。 苦小牧地域医療協議会が発足。 北海道銀行糸井支店開店。 市教育委員会は部長人事をめぐり教育長の独断に反発し、三人の教育委員が辞表提出。 苦小牧市議会は教育委員辞表問題を重くみて市教委正常化特別委員会を設置。 胆振支庁苦小牧合同庁舎が新設され、苦小牧税務事務所、林業指導事務所が業務開始。 第四九回全日本アイスホッケー選手権で王子製紙が二年連続二〇回目の優勝。 苦小牧市議会は臨時議会を開き、第二段階計画である国家石油備蓄、北電苦東厚真発電所二号機の建設を賛成多数で可決。 午後一時五八分ごろ震度四の地震、一一年ぶりの真昼の地震となる。

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
昭和五六年	一九八一	1・23	・第三〇回全国高校スケート競技選手権大会で駒大苦小牧高がスピード女子で四年連覇 アイスホッケーも二年連続六回目の優勝。 いすゞ自動車苦小牧高アイスホッケー部が全日本選手権B級で高校生として初の優勝、全道、全国、国体、全日本B級と四冠を制す。 市議会特別委員会で三教育委員が辞表を撤回、市長、教育長が陳謝し解決。 樽前山火山活動活発化し、観測史上最高の一二九回の火山性地震を記録。 ・苦小牧東部石油備蓄（国家）株式会社設立。 第四回全日本女子アイスホッケー選手権大会で苦小牧ベリグリンが二回目の優勝。 苦小牧ステーションビル会社（藤田隆一社長）設立。 苦小牧港の港章とシンボルマーク決まる。 豊川小学校開校。市内一八番目。 豊川コミュニティセンターがオープン。 ・錦町の一・六ビル（トピア地上五階地下一階）着工、地鎮祭行う。 ウトナイ湖サンクチュアリがオープン。 旧ホテル・ビバリートムを全面改装したホテル・イーストジャパンがオープン。 苦小牧港が特定重要港湾に指定。 苦小牧市社会福祉会館が旧苦小牧郵便局舎を改装してオープン。 篠田弘作元自治大臣に苦小牧市名誉市民の称号を贈る。 第五二回都市対抗野球大会で王子製紙は一回戦で三菱重工に敗れる。 苦小牧駅舎、駅ビルの起工式行う。 国道二七六号の丸山自転車歩行者道路が完成。 苦小牧駅前郵便局が苦小牧郵便局の移転により廃止となる。 苦小牧旭町郵便局が開局（苦小牧郵便局の若草町移転と駅前郵便局廃止に伴う新設）。
		1・26	
		2・6	
		2・27	
		3・7	
		4・2	
		4・8	
		4・9	
		5・1	
		5・10	
		5・17	
		5・22	
		7・4	
		7・13	
		7・28	
		9・7	
		9・14	
		9・19	
		9・21	

第八編 年 表

昭和五十六年	一九八一	昭和五十七年	一九八二
10・12	10・21	10・23	12・20
10・26	11・11	11・16	12・29
11・24	11・26	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	12・27
11・26	12・3	12・10	

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
昭和五七年	一九八二	4・16	苦小牧市と日光市が姉妹都市提携に調印。
		4・26	北海道内水面漁業管理委員会が支笏湖のヒメマス釣りを四年ぶりに全面解禁と決める。
		5・16	緑ヶ丘公園陸上競技場オープン。
		5・31	王子娯楽場の「さよなら映画会」が終わり閉館する。
		6・1	昨年十二月以来禁止になっていた樽前山の登山一部解禁（自動車で七合目まで）。
			・支笏湖のチップ釣り四年ぶりに解禁。
			・特別養護老人ホーム樽前慈生園が開園。
		6・2	いすゞ自動車が苦東で自動車工場起工式行う。
		6・5	苦小牧市は高丘四八番地（通称四マイル付近）に高丘第二霊園造成工事に着手。
		6・30	苦東コールセンター株式会社設立。
		7・5	北海道石油共同備蓄株式会社（民間石油備蓄基地）にオイルイン、第一船「富士丸」が
			苦小牧港東港に入港。
		7・6	苦小牧市議会が定数三六人とする条例可決。
		7・10	苦小牧港東港が港則法の適用を受け東西同一港域となり、東港も業務可能となつて外国貿易港としてスタート。
		7・26	北電苦東厚真発電所が二号機の起工式行う。
		8・1	苦小牧駅裏鉄北地区（緑町、木場町、春日町、清水町）に住居表示を実施。
		8・5	第二回全日本学童軟式野球大会に勇弘育成会チームが出場するも一回戦で敗れる。
		8・23	苦東の石油国家備蓄基地予定地から国内初の縄文時代の環濠遺跡を発見。
		8・29	第四回全国中学校軟式野球大会に出場した明倫中学校は一回戦で関東代表に敗れる。
		9・1	石狩川開発建設部は千歳川放水路の計画概要を明らかにする。
		9・4	岩倉組が三光町のホモゲン第二工場跡地で宅地造成の起工式行う。
		9・15	錦町再開発会社の錦町一・六ビルの名称を「トピア」と決定。
		10・1	国鉄苦小牧駅舎と自由通路完成。駅舎三階建て二、三〇〇m、自由通路は延長一二〇m。
		10・2	苦小牧ステーションビル「エスタ」オープン。三階建て一、五九一m、工費一二億円。

昭和五十七年	一九八二	昭和五十八年	一九八三
10・4	室蘭商工信用組合糸井支店オープン。	1・23	第五一回全日本アイスホッケー選手権で王子製紙が二年ぶり二一回目の優勝。
10・7	企業城下町法が再施行され紙バが追加、苫小牧市が特定不況業種地域に指定される。	12・16	第三二回全国高校スケート選手権大会女子スピードスケートで駒大苫小牧高が二年連
11・17	勇払地区土地区画整理事業が完了。	12・13	統全種目制覇で六度目の優勝。
11・19	苫小牧地域職訓センターオープン、併設の苫小牧市技能研修センターも開設。	12・11	苫小牧港開発がウトナイ観光ホテル及び周辺用地などを含めて買収する。
12・4	桜木郵便局が開局（市内一四番目の特定局）。	12・6	・第三回全国中学校スケート大会の女子スピードで啓北中学校が初優勝。
12・6	北海道拓殖銀行苫小牧支店糸井出張所がオープン。	12・7	苫小牧市の姉妹都市ネーピアからジェフエリー市市長夫妻が来苫、第一七回とまこまいス
12・11	苫小牧市消防署の新庁舎が完成し業務を開始する（二一日落成式）。	12・13	ケートまつりに参加。
12・17	第一七回日本アイスホッケーリーグで王子製紙が二年連続六度目の優勝。	12・13	苫小牧市の新庁舎がオープン。
12・18	日吉郵便局が開局（市内一五番目の特定局）。	12・18	・苫小牧市交通安全センターオープン。
12・19	三光町の宅地造成区の名称が「新生台」と決まる。	12・19	明徳小学校が開校式行う（市内一九番目）。
12・20	第五一回全日本アイスホッケー選手権で王子製紙が二年ぶり二一回目の優勝。	12・20	統一地方選の道議苫小牧市部で橋浪蔵、大平盛雄が当選。
12・21	第三二回全国高校スケート選手権大会女子スピードスケートで駒大苫小牧高が二年連	12・21	市役所の北庁舎改修工事に着手。
12・22	統全種目制覇で六度目の優勝。	12・22	・苫小牧社会保険事務所の新庁舎が完成し業務を開始する。
12・23	苫小牧港開発がウトナイ観光ホテル及び周辺用地などを含めて買収する。	12・23	統一地方選第二弾で苫小牧市長に民間出身の板谷實が当選、市議三六名当選。
12・24	・第三回全国中学校スケート大会の女子スピードで啓北中学校が初優勝。	12・24	八王子千人同心子弟市川彦太夫の墓碑を堀江敏夫図書館長が鶴川永安寺境内で発見。
12・25	苫小牧市の姉妹都市ネーピアからジェフエリー市市長夫妻が来苫、第一七回とまこまいス	12・25	市内錦岡でシンナーによる少年（一八歳）の死体を発見。
12・26	ケートまつりに参加。	12・26	厚生省は苫小牧市など一カ所を「障害者福祉都市」に指定する。
12・27	苫小牧市の新庁舎がオープン。	12・27	
12・28	・苫小牧市交通安全センターオープン。	12・28	
12・29	明徳小学校が開校式行う（市内一九番目）。	12・29	
12・30	統一地方選の道議苫小牧市部で橋浪蔵、大平盛雄が当選。	12・30	
12・31	市役所の北庁舎改修工事に着手。	12・31	
12・32	・苫小牧社会保険事務所の新庁舎が完成し業務を開始する。	12・32	
12・33	統一地方選第二弾で苫小牧市長に民間出身の板谷實が当選、市議三六名当選。	12・33	
12・34	八王子千人同心子弟市川彦太夫の墓碑を堀江敏夫図書館長が鶴川永安寺境内で発見。	12・34	
12・35	市内錦岡でシンナーによる少年（一八歳）の死体を発見。	12・35	
12・36	厚生省は苫小牧市など一カ所を「障害者福祉都市」に指定する。	12・36	

年 号	西 暦	月 日	で き ごと
昭和五八年	一九八三	6・20	苫小牧市役所の北庁舎の改修工事が完了し、新庁舎と接続し業務を開始する。 市役所の旧庁舎の解体始まる。
		6・24	登山規制が続いていた樽前山登山が五年ぶりに全面解除となる。
		7・1	・日軽苫小牧（本社苫小牧市・黒田正孝社長・従業員三三〇人）が発足、日軽金苫小牧工場（従業員八〇人）とする。
			・いすゞ自動車北海道工場が笹目良雄工場長と四課制で発足。
		7・24	苫小牧港開発株式会社が行っていたウトナイ湖畔再開発が終わり、レイクホテルなど全面開業する。
		7・26	第五四回都市対抗野球出場の王子製紙は一回戦で敗戦。
			・苫小牧工業高等専門学校が一般公開講座を開設。
		7・30	苫小牧市役所の増改築庁舎完成式行う。
		8・1	苫小牧国立大学誘致期成会総会が会の名称を苫小牧大学誘致期成会と変更する。
		8・23	第五回全国中学校軟式野球大会に出場の明倫中学校は一回戦で敗退。
		8・26	第一回東胆振サミット（胆振東部一市六町の首長）を苫小牧市で開く。
		8・31	緑ヶ丘運動公園のテニスコート一二面が完成。
		10・22	苫小牧工業高校が創立六〇周年と校舎移転新築記念式典を行う。
		11・1	苫小牧市は機構改革を行い、市長公室と開発部を統合して企画調整部、環境部と衛生部を統合して環境衛生部、管財部を財政部に統合する。
		11・18	苫東民間備蓄の北海道石油共同備蓄株式会社の第二期分大型タンク一六基が完成、注油が始まる。
		11・30	・苫小牧市役所新庁舎と外構工事が完成し、全面落成を祝う式典を行う。
		12・5	道央自動車道苫小牧西～白老インターチェンジ間の一五・八kmが開通。
		12・10	苫小牧信用金庫勇払支店オープン（市内一二番目の支店）。
			第一八回日本アイスホッケーリーグで王子製紙が三連覇、七回目の優勝。

昭和五八年	一九九四	新生公園（木場町）にシンボルとしてステンレス製の水車モニュメントを設置。
昭和五九年	一九八四	錦町駐車場事業協同組合の駐車場（旧陽願寺跡地）がオープン。
		環境庁の調査で苦小牧川下流のBODが全国ワースト一になる。
		三協精機苦小牧工場が錦岡で開所式行う。
		第三三回全国高校スケート選手権大会のスピード女子で駒大苦小牧高が九度目の優勝。
		苦小牧市障害者福祉都市協議会が発足。
		苦小牧川の新苦小牧川への切り替え通水式行う。
		苦小牧市が大気汚染防止法に基づく政令都市に指定される。
		・第一幹線排水川が明野川（二級河川）と改称する。
		勇武津波切不動及び奉納品七点と勇払恵比須神社の厨子が市指定文化財となる。
		苦小牧漁協が錦多峰サケ・マスふ化場の落成式を行う。
		市営球場の夜間照明点灯式行い、記念少年野球試合を行う。
		字錦岡の農地約一・五haを利用した初の「ふるさと農園」開園。
		いすゞ自動車北海道工場が開所式、苦東生産工場の第一号となる。
		苦小牧信用金庫の北央支店（市内一三番目の支店）とコンピュータ事務センターが開所。
		苦小牧市が福祉のまちづくり環境整備要綱制定。
		いすゞ自動車北海道工場が操業開始（加工ライン本格生産開始）。
		大洗フェリー航路が苦小牧、室蘭の同時就航で開設認可となる。
		苦小牧市の市街化区域変更で錦岡、糸井の丘陵部、苦東埋立てB地区等一六四haが市街化区域に編入。
		北明野地区に住居表示が実施され新明町、あけぼの町が誕生。
		苦小牧東部石油備蓄株式会社（国家石油備蓄基地）の第一期工事完成、第一船「麻里布丸・約一〇万t」からオイル・イン。竣工式同月二七日。
		千歳信用組合沼ノ端支店オープン。
		市民文化公園（カルチャーパーク）の一部が完成し、市民に解放する。
		第一回苦小牧マラソン大会開催。

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
昭和五九年	一九八四	10・15	苦小牧市企業立地振興条例（企業誘致条例）施行。
		10・27	初の東胆振物産観光まつり（一市六町）が駅前サンプラザで四日間にわたり開催。
		11・6	苦小牧日中友好促進協会が設立。
			・ 苦小牧グリーンホテルオープン。
		12・1	第一九回日本アイスホッケーリーグで王子製紙が四連覇八度目の優勝。
		12・3	駅北口ビルに初の通年制プール「ビーブル」オープン。
		12・6	日胆農業センターが若草町にオープン。
		12・20	苦小牧港が欧州運賃同盟のコンテナサービスポートに指定。
		12・21	市企業立地振興条例の適用第一号として雪印種苗苦小牧工場と清水鋼鐵苦小牧製鋼所。
昭和六〇年	一九八五	1・10	苦小牧市サイクリングターミナル開館。
		1・16	苦東コールセンター操業開始。
		1・20	第五三回全日本アイスホッケー選手権大会で王子製紙が全勝優勝。
		1・24	第三四回全国高校スケート競技選手権大会で駒大苦小牧高が女子スピードスケート総合で八年連続、一〇度目の優勝。
		1・31	一月中の苦小牧地方の冷込みが厳しく、真冬日が二四日を記録する。
		2・1	老人性痴ほう症特別養護老人ホーム「樽前緑樹園」開園。
		2・8	苦小牧市シルバー人材センター（高西哲郎理事長）発足（四月一日より事業開始）。
		2・25	苦小牧フェリーターミナル第三号岸壁が完成。
		3・4	第四回全日本アイスホッケー女子選手権大会で（昭和五七年から日本アイスホッケー連盟主催となり第一回大会に改める、苦小牧ベリグリンが初優勝。
		3・10	昭和三十一年四月開設の苦小牧西高校の定時制課程閉課式を行う。
		3・12	大泉源郎前市長が市政顧問に委嘱。
		3・17	苦小牧く大洗間で新フェリー「さつぽろ丸」が乗客二〇六人、産地野菜一〇tを積んで苦小牧港に初入港し、定期航路開設される。

昭和六〇年		一九八五
3・18	苦小牧く大洗間フェリー航路開設記念祝賀会がホテルニュー王子で開催され、夜苦小牧から大洗に向けての第一船が三〇〇人の訪問団を乗せ出航。	
3・23	苦小牧市行政改革推進懇話会がスタート。	
3・31	苦小牧市職員に定年制導入、一般職六〇歳、医師六五歳。	
4・1	苦小牧市埋蔵文化財調査センター開館。	
	・札幌く苦小牧間の高速バス運行開始。	
	・専売公社の民営化に伴い、日本たばこ産業苦小牧営業所となる。	
4・5	日軽金苦小牧工場アルミ精錬部門閉鎖。	
4・8	泉野小学校が開校（市内二〇番目）。	
4・19	板谷市長らが姉妹都市ネーピア市を親善訪問。	
5・18	苦小牧港が中国・秦皇島港と友好港湾を締結し調印。	
5・31	駅前の金市館苦小牧店（昭和三十六年開店）が撤退する。	
7・2	市内初の本格的コミュニティ道路が若草小学校西側に完成。	
7・26	第五六回都市対抗野球大会に出場した王子製紙は一回戦でNTT東京に敗れる。	
8・1	いすゞ自動車北海道工場がディーゼルエンジンの生産開始。	
8・5	・北海道放送が苦小牧支局を苦小牧放送局に昇格する。	
	王子製紙苦小牧工場が廃液専用排水路の通水を開始する。	
8・9	東京とまこまい会設立。	
8・13	苦小牧地方の気温が三一・六℃と四三年ぶりの最高を記録。（昭和二十二年八月二日に三〇・九℃）	
8・26	苦小牧信用金庫錦岡支店オープン（市内一四番目の支店）。	
9・1	汐見町地区、糸井鉄北地区一部で第一〇次の住居表示実施し、柏木町、川治町が誕生。	
9・10	苦小牧港西港勇払ふ頭五号岸壁（二四〇m）建設工事完了。	
9・27	苦小牧市民憲章が制定される。	
10・1	市内柏原の一般廃棄物処分場が民間委託で使用開始。	
10・4	北電苦東厚真発電所二号機が初の海外炭を使用して運転開始。	
11・1	苦小牧市博物館、埋蔵文化財調査センターが落成式を文化会館で行う（三日開館）。	

年 号	西 曆	月 日	で き ご と
昭和六〇年	一九八五	11・1	苦小牧市立自動車学校廃校（昭和三二年三月一日開校）。 ・苦小牧市青少年センターが苦小牧市科学センターと名称変更。 トピアの建設工事が四年ぶりに再開。 第一回苦小牧市技能功労者表彰式を行う。 ・苦小牧市立自動車学校跡地の売却入札で天台交通に落札。 澄川郵便局開局（市内一六番目の特定局）。 苦小牧プリンスホテル新館がオープン。 新勇払地区公民館（パブリックセンター）開館。 ・苦小牧市の消防体制が二署四出張所体制となる。 銭湯廃止に伴い勇払パブリックセンター内の浴場開業。 若草中央公園の屋外ステージ、イベント広場が完成。 市議会が市立自動車学校跡地売却問題で特別委員会設置。 新産業都市財政特別措置（苦小牧市など指定）が五カ年間延長決まる。 苦小牧港貿易額が二、七二二億円余で七年連続全道一となる。 第五四回全日本アイスホッケー選手権大会で王子製紙が四年連続二四回目の優勝。 第三五回全国高校スケート選手権大会で駒大苦小牧高アイスホッケー部が四年ぶり八回 目の優勝。
昭和六一年	一九八六	1・23 1・19 1・1 12・27 12・18 12・10 12・3 12・2 11・28 11・25 11・22 11・18 11・1	王子製紙苦小牧工場がクラフトパルプ設備の竣工式を行う。 一月中の苦小牧地方の真冬日が二日間を記録。 板谷實市長が市立自動車学校跡地売却の議案を市議会特別委員会で撤回する。 川治公園（健康運動公園）開設。 錦町再開発事業のトピアが着工から四年一カ月を経てようやく開店。 市議会が苦東開発第三段階計画案を勇払駅存続と千歳川放水路に要望意見を付けて原案 可決。

4	4	4	4	4	5	5	6	7	7	8	8	8	9	9	9	10	10	11	11	11	12		
1	8	17	23	27	1	12	11	18	25	5	14	26	27	1	26	4	21	1	5	13	26		
苦小牧共同発電が日軽金資金半減で一号機を廃止し五〇万kW体制とする。	・ 苦小牧市が市民総合賠償保険制度を導入。	苦小牧市が企画調整部に企業誘致室を新設。	苦小牧市企業立地第一号の雪印種苗苦小牧工場の落成式行う。	苦小牧異業種交流プラザが五五社の参加を得て発足。	映画館の旭館が閉館（大正一一年五月開館）。	苦小牧市の新イベント広場、若草中央公園が使用開始。	美々川に水カビが発生、千歳市ゴミ処分場のヘドロと判明する。	緑ヶ丘公園庭球場のクラブハウスと夜間照明設備が完成。	北海道が沼ノ端地区をノーマライゼーションのモデル地区に指定。	苦小牧市消防音楽隊が活動を休止。	北海道開発予算要求で千歳川放水路は昭和六二年度着工を見送る。	苦小牧港の改訂港湾計画で昭和五九年四月から休止の臨海鉄道を廃止する。	市内植苗の雪印乳業受精卵移植研究所でバイオ子牛誕生。	苦小牧港東港東防波堤（四、七五〇m）の建設工事を完了。	新千歳空港の名称に「苦小牧」の名を加える運動起こる。	苦小牧市が市の花として、木の花にハスカップ、草の花にハナシヨウブを制定し、住吉公園で記念植樹を行う。	第一回とまこまいナナカマドまつり開催。	苦小牧市立中央図書館と市サンガーデンの起工式を行う。	苦小牧市は若草小学校東側樹林、植苗小中学校のコブシ、樽前小学校のクリ、今野豊宅のヤチダモを保存樹に指定。	沼ノ端ノーマライゼーション推進委員会が設立。	苦小牧市が交通死亡事故非常事態を宣言。	市内中心部の南北を結ぶ旭大通アンダーパスが開通。	第二一回日本アイスホッケーリーグで王子製紙が二年ぶり九度目の優勝。

年 号	西 暦	月 日	で き ご と
昭和六二年	一九八七	1・2	第五回全日本アイスホッケー選手権大会で王子製紙が五年連続二五回目の優勝。
		1・8	・ 静川遺跡内の環濠遺跡が史跡として国の文化財となる。
		1・21	・ 市営球場がオーロラ球場、新第二球場が緑ヶ丘球場と愛称決まる。
		2・10	・ 第七回全日本中学校スケートスピード大会で和光中学校女子が団体優勝。
		2・14	・ 沼ノ端鉄南第一地区土地区画整理事業が終了。
		2・23	・ 苫小牧市は高齢化問題検討委員会を設置。
		2・26	・ 駅前王子町旧金市館横の飲食店併設公営住宅の（昭和二十七年七月建設）解体始まる。
		3・4	・ 苫小牧高等職業訓練校が明野に移転完了。
		3・31	・ 苫小牧駅で国鉄最後の日の記念乗車証明書を発行。
		4・1	・ JR北海道がスタートする。
		4・12	・ 統一地方選の道議苫小牧市部で大平盛雄、橋浪蔵当選。
		4・15	・ 北海道エキノコックス症対策協議会が苫小牧市などを重点地域に指定する。
		4・17	・ 苫小牧郵便局が、ふるさとの味として苫小牧産のホッキ貝パックを初めて発送。
		4・23	・ 市内の交通死亡事故が昨年一二月二七日以来ゼロ記録一〇〇日達成。
		4・27	・ 統一地方戦第二弾で市長に鳥越忠行が初当選、市議に女性二人を含む三六人当選。
		5・24	・ 苫小牧市中央消防署と八出張所を結ぶ道内初の無線式サイレン吹鳴装置が完成。
		6・9	・ 新設の市営緑ヶ丘球場のオープンセレモニーを行う、使用開始は六月一日。
		6・15	・ 美々川の水力ビ問題は、断続放流の成果があったとして終決宣言を行う。
		6・24	・ 苫小牧西高校の現地改築と商業科の分離独立で道は調査費を計上し分離が決まる。
		8・3	・ 昭和六十二年全国高校総体が開幕、苫小牧で軟式庭球とフエンシング競技行う。
		8・11	・ 第五八回都市対抗野球で準々決勝まで進んだ王子製紙苫小牧はN.T.T.東海に敗れる。
		8・26	・ 苫小牧スケート協会（大正一四年一〇月一日設立）が発展的に解散し、アイスホッケー連盟とスケート連盟に分離独立。
			・ 苫小牧地方が集中豪雨に見舞われ住宅や交通網に被害、市は対策本部を設置。

昭和六二年	一九八七	一九八八
胆振海岸保全事業促進期成会（苫小牧市、登別市、白老町）が設立。 モータースで皇太子ご夫妻を迎えて育樹祭行ふ。	9・12	9・13
苫小牧市の交通死亡事故ゼロが二六六日でストップ。	9・20	9・21
苫小牧東部開発会社苫小牧事業本部の新社屋が完成し業務開始（落成式一〇月二日）。	10・20	10・26
苫小牧市は暴力追放宣言集会を開き、暴力追放宣言を行う。	10・21	10・28
苫小牧市教育委員会は従前の社会教育功労者、優良団体に代わり、本年度より文化賞、文化奨励賞を新設。	11・5	11・10
第一四回社会人野球日本選手権大会に出場した王子製紙は一回戦で敗れる。	11・28	11・31
北海道開発問題調査会が樽前リゾートゾーン構想概要まとめる。	12・4	12・8
苫小牧港東港中央ふ頭一号岸壁（一八五m）、二号岸壁（二八五m）の建設工事完了。	12・13	12・14
苫小牧市は大型化ゴミ収集車をステーション方式から各戸収集に切り替える。	12・15	12・17
・苫小牧市道の美沢千歳空港線が開通。	12・24	12・27
苫東基地内の国道二三五号切り替え工事（一・六・二km）完成、暫定二車線で供用開始。		
苫小牧港西港勇払ふ頭四号岸壁（一三〇m）の建設工事完了。		
第二二回日本アイスホッケーリーグで王子製紙が二年連続一〇回目の優勝。		
明野郵便局が開局（市内一七番目の特定局）。		
苫東の国家石油備蓄基地第二工区の一四基のタンクが完成しオイルイン。		
道立職業訓練校が改称して道立苫小牧高等技術専門学院となる。		
日吉体育館が開館式行ふ、一六日から一般解放。		
第三七回全国高校スケート競技選手権大会のアイスホッケーで駒大苫小牧高が二年ぶり九回目の優勝。		
・北海道開発局は千歳川放水路計画に反対の植苗、美沢地区酪農組合に対する初の説明会を開く。		
・道央テクノポリスが母都市を札幌市に、副母都市を苫小牧市と変更。		
第八回全国中学校スケート大会の女子スピードスケート学校別対抗で和光中学校が、アイスホッケーで明倫中学校が優勝。		

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
昭和六三年	一九八八	2・17 2・18 2・25	苫小牧市はアイスアリーナ実現へ向けて建設基金一、〇〇〇万円を積み立てる。 千歳川放水路計画に反対する団体、市民が市民集会を開く。 旧苫小牧川の王子製紙工場廃液流出区域の埋め立てが完了する。 ・第七回全日本アイスホッケー女子選手権大会が軽井沢で開催され、苫小牧ペリグリンが三年ぶり二度目の優勝。
		3・18 3・18 3・27 3・31 4・1	苫小牧市が企業立地振興条例の一部改正を行い業種、地域、交付基準の拡大を図る。 苫小牧市議会が苫小牧市基本構想の一部改定案を原案通り可決。 第一回苫小牧子ども会議が市長、教育長を囲んで開かれる。 苫小牧市は事業の完了により特別会計都市改造事業会計を廃止 苫小牧市アイスアリーナ建設基金条例施行。
		5・1	・苫小牧市が市公文書の公開に関する規程を施行し、情報公開制度スタート。 緑ヶ丘運動公園に市営少年野球場がオープン。
		5・2 5・10	・苫小牧市が市民会館と労働福祉センターの窓口業務を委託業務とする。 苫小牧市が北海道リニアモーターカー推進協議会への加入を申し入れる。
		6・4 6・8	苫小牧港西港勇払頭四号岸壁（一三〇m）供用開始。 財団法人道央テクノポリス開発機構が道の設立許可を得る。
		6・16 6・20	苫小牧市が第三次基本計画による向こう一〇年間の街づくり基本構想をまとめる。 ・苫小牧市がシンボルストリート構想を発表。
		7・5 7・8	雪印乳業受精卵移植研究所が体外授精（試験管ベビー）による子牛の出産に成功。 北海道苫小牧地方環境監視センターが新千歳空港供用開始に先立ち、航空機騒音テレメーターを苫小牧と千歳に二カ所ずつ設置。 苫小牧測候所の新庁舎が完成し、矢代町からしらかば町に移転する。 胆振海岸保全推進連絡協議会が設立。 苫小牧港東港中央ふ頭の公共ふ頭が供用開始。

第八編 年 表

昭和六三年	一九八八
7・8	・ 国際コンテナ定期航路が北米、苦小牧港間に直航で開設し、第一船「ホーク・アロウ」が初入港。
7・17	市内の中学校三校の生徒二二一人が学校給食による集団食中毒を訴え、一九日には二、七〇〇人に達する。
7・20	新千歳空港開港し、苦小牧市長もテープカットに参加。
7・30	第三七回日本海洋少年団全国大会が常陸宮ご夫妻を迎えて開幕、全国各地から一一〇団・三、〇〇〇人が参加。
8・1	苦小牧市が行革の一環として水道メーターの検針業務を民間に委託する。
8・15	苦小牧錦町再開発会社がトピアの自己破産を申し立て、札幌地裁室蘭支部に受理され、破産管財人に札幌の窪田もとむ弁護士が選任される。
8・18	市教育委員会が勇払中学校と凌雲中学校に「希望の鐘」新設、以後各地に設置。
8・28	緑ヶ丘運動公園にサッカー場開設。
9・1	樽前山の東ピークにあるブロック造りの避難小屋が老朽化を理由に撤去される。
9・10	市教育委員会は学校給食の集団食中毒事故で入院、通院者、自宅療養者の補償を決める。
9・25	市民会館から市役所屋上に移した「希望の鐘」の吹鳴披露式を行う。
9・29	学校給食による集団食中毒で苦小牧市教育委員会は、佐々木教育長に戒告など四人を処分する。
10・1	新生台ファミリープラザ「ステイ」オープン。
10・2	川沿体育館開館。
10・12	苦小牧市は死亡交通事故が増していることから交通死亡事故非常事態を宣言する。
11・1	大泉源郎（元市長）、西田信一（元国務大臣）、故田中正太郎（元市長）への名誉市民の称号授与式を行う。
11・2	苦小牧市立中央図書館と市サンガーデンが落成式行う（三日オープン）。
11・3	JR青葉駅開業。
11・21	昭和三八年の苦小牧港開港以来の石炭用公共臨港線撤去が決まる。
12・5	室蘭信用金庫苦小牧中央店が開店。

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
昭和六三年	一九八八	12・7	市営バスが初めて苦東へ乗り入れ、樽前線も延長する。
		12・8	苦小牧港西港勇払ふ頭六号岸壁（一六五m）建設工事完了。
		12・9	第四一回全日本フェンシング選手権大会が市総合体育館で開催。
		12・14	道内初の国直轄事業で整備する胆振海岸保全事業に着手。
		12・22	住吉ライプリーセスター（苦小牧勤労者総合福祉センター）開館。
		1・14	第五七回全日本アイスホッケー選手権大会で王子製紙が二年ぶり二六回目の優勝。
平成元年	一九八九	1・20	第三八回全国高校スケート競技選手権大会の女子スピードスケートで駒大苦小牧高が四年ぶり一回目の優勝。
		2・5	第九回全国中学校スケート競技大会で和光中学校が女子学校別対抗で三年連続、アイスホッケーで七年ぶり二回目の優勝。
		2・6	苦小牧港西港勇払ふ頭六号岸壁が供用開始。
		2・14	道央テクノポリスが国の承認書を受け、指定。
		3・5	トビアを買収する再建会社名が「苦小牧環境計画」と決まる。
		4・1	第六一回全国選抜高校野球大会に出場の苦小牧工高は二回戦で京都西に敗れる。
			・ 苦小牧駒澤短期大学が駒澤大学苦小牧短期大学と校名を改称。
			・ NTT苦小牧電話局がNTT苦小牧支店と改称。
			・ 日軽苦小牧は日本軽金属に統合、再び日本軽金属属苦小牧製造所となる。
			・ 駒澤大学コンピューター専門学校が開校。
5・28			苦小牧市ふるさと創生一億円事業はこども国際交流基金と決まる。
7・1			市内しらかば町の旧下水道ポンプ場地下室で市内中学男子三人がシンナー中毒死。
7・22			ノーザンホースパーク（市内美沢）がオープン。
8・11			北海道と三市一〇町で道央テクノポリス企業誘致推進協議会を設立。
8・16			苦小牧市の人口一六万人達成（吉田響一郎ちゃん）。
9・14			苦小牧市民文化公園の滝、人工河川の通水式行う。

第八編 年表

平成 二年	一九九〇	一九八九	一九八八
3 ・ 24	3 ・ 16	2 ・ 22	2 ・ 14
1 ・ 24	1 ・ 10	1 ・ 1	12 ・ 22
1 ・ 10	1 ・ 1	12 ・ 21	12 ・ 13
12 ・ 6	12 ・ 5	11 ・ 25	11 ・ 12
11 ・ 3	11 ・ 1	10 ・ 31	10 ・ 19
10 ・ 18	10 ・ 1	10 ・ 1	9 ・ 18
はまなす国体フェンシング競技が市総合体育館で、雨のため正午から軟式庭球競技が緑ヶ丘庭球場で開幕。	市内三光町と明野地区の一部に住居表示実施、明野新町、明野元町、新開町、柳町が誕生（第一次）。	苦小牧川のヘドロ調査が啓北橋付近で始まる。	勇弘マリーナ建設工事に着手。
市道糸井東大通りの「はまなす跨線橋」の開通式行い、道内初の屋根付き歩行者用階段も使用開始。	苦小牧音楽放送がケーブルテレビ（CATV）事業の営業を開始。	市内柳町に初のカラオケボックスが登場。	苦小牧港に一万隻目の外国貿易船が入港。
オートリゾート樽前計画の基盤整備工事が始まる。	新設の商業科高校の校名が苦小牧総合経済高校と決まる。	・苦小牧市矢代ゲートボール場（室内ゲートボール場）オープン。	苦小牧港西港晴海ふ頭一号岸壁（二四〇m）建設工事を完了。
第二四回日本アイスホッケーリーグで王子製紙が二年ぶり一回目の優勝。	トピアが一年四ヵ月ぶりに再オープン。	陽明園（緑星の里）の在宅老人デイサービスセンター開設。	苦小牧市が苦小牧営林署の緑のオーナー制度（大口）で口無沼付近四・六haを限定公募契約し市民に開放。
第三七回全国高校スケート選手権大会で駒大苦小牧高がスピードスケート団体女子で二年連続一二回目、アイスホッケーで二年ぶり一〇回目の優勝。	トヨタ自動車が苦小牧港西港臨海部の用地取得。	苦小牧市は三光町の新生台地区を都市計画法による地区計画に指定。	山陽国策バルブ勇弘工場が新聞用紙マシンの竣工式を行う。
苦小牧西高校が修了式と苦小牧総合経済高校との分離式を行う。			

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
平成 二年	一九九〇	3・24	新千歳空港のエアーカーゴ二四時間運用問題を協議する「苦小牧市地域協議会」が発足。 ・苦小牧ジュニアオーケストラ第一回定期演奏会開催。 苦小牧市が土木部にシンボルストリート推進室、オートリゾット樽前建設推進室を設置。 ・特別養護老人ホームアポロ園が開園、初のショートステイ専用ベッド五床を設ける。 苦小牧市役所の窓口業務が平日が午後五時一五分、土曜日が午後零時三〇分まで延長。 苦小牧総合経済高校（苦小牧西高校商業科の分離独立）が開校式を行う、（落成記念式典は一〇月二八日） 千歳川放水路に反対する市民の会が設立。 苦小牧西高校の旧校舎の取り壊し工事が始まる。 駅通り商店街で初の「窓辺の美術展」開幕、出品作品は三七点。 苦小牧市は三光町の新生台地区を都市景観モデル地区に指定。 苦小牧ベリグリンが岩倉建設の援助により、「岩倉ベリグリン」として発会式行う。 苦小牧建設協会が「千歳川放水路建設促進協力会」を設立。 ウトナイ湖南東砂丘地区が市自然環境保全地区に指定。 苦小牧市議会が千歳川放水路調査特別委員会を設置。 トヨタ自動車が苦小牧進出計画を発表、投資額一、〇〇〇億円。 苦小牧市日新温水プール開館。 国土地理院編集の「日本の山岳標高」で、樽前山の標高を従来の一、〇三八mより高い一、〇四一mと訂正記載。 市民文化公園で人工池と噴水広場の完成式を行う。 ファンタジードームの竣工式とJR苦小牧駅北口スカイウエーの竣工式行う。 とまこまい国際交流センターが設立。 ときわスケートセンター（旧錦岡スポーツセンター）が苦小牧初の通年リンクとなる。 苦小牧市の島に「ハクチョウ」を指定。 ファンタジードーム（JR苦小牧駅北口）オープン。
		9・5	
		9・4	
		9・1	
		8・31	
		8・30	
		8・26	
		7・31	
		7・22	
		7・20	
		6・25	
		6・15	
		6・11	
		6・5	
		6・1	
		5・18	
		5・11	
		4・13	
		4・11	
		4・2	
		4・1	

平成 二年	一九九〇	平成 三年	一九九一
9 ・ 10	10 ・ 9 ・ 22 1	12 ・ 24	1 ・ 15
11 ・ 26	11 ・ 25	12 ・ 21	11 ・ 30
11 ・ 22	10 ・ 29	12 ・ 20	12 ・ 6
10 ・ 25	10 ・ 25	12 ・ 5	11 ・ 30
苦小牧港西港の水面貯木場の埋め立て開始。 ・勇払マリーナ事業の防波堤工事始まる。 市民生協川沿店ファミリィプラザ「バセオ」がオープン。 糸井鉄北地区・有珠の沢・みどり野と澄川町・ときわ町・錦岡東地区の一部に住居表示 が実施され、有珠の沢町が誕生（第一二年次）。 ・国土庁が学園計画ライブラリーに「苦小牧市錦西ニュータウン」が登録。 道議会で苦小牧市部の道議会議員定数が一議席増の三と決まる。 サンブラザ郵便局（苦小牧郵便局の出張臨時局）が開局。 国勢調査人口で苦小牧市の人口が一六万人に達する。 苦小牧市生活館がオープン。 道内初のニュージージランド領事館が苦小牧ニュージージランド協会会長、松井郁夫領事宅に 開館。（七月二七日名誉領事任命） ・川治郵便局が開局、市内一八番目の特定局。 ・苦小牧信用金庫明野支店オープン（市内一五番目の支店）。 苦小牧市内の選挙投票区は三五カ所から三八カ所となる。 千歳川放水路建設に協力する会が設立。 JR苦小牧駅南口スカイウエーの開通式行う。 第二電電の苦小牧リレーションが沼ノ端に完成。 トヨタ自動車、苦小牧西部工業団地に建設する北海道工場は一〇〇％出資の子会社「ト ヨタ自動車北海道」とすることを正式に発表。 第二五回日本アイスホッケーリーグで王子製紙が一二回目の優勝。 ・市営バス錦西営業所開業。 国直轄胆振海岸保全事業着手記念行事（昭和六三年一二月の着手だが、昭和天皇崩御の ため延期）を行う。 自転車、歩行者専用道路の柏木の道、泉野の道がカラーブロック舗装で完成。 ・苦小牧市国際こども交流事業（一億円ふるさと創生事業）のスポーツ少年団サッカー チームがニュージージランドへ出発。			

年 号	西 暦	月 日	で き う と
平成 三年	一九九一	一・ 二〇	第四四回全国高校スケート選手権大会のアイスホッケーで駒大苦小牧高が二連覇、一回目の優勝。
		二・ 二八	トヨタ自動車北海道が設立、資本金一〇〇億円の現地法人、社長に工藤末志が就任。
		二・ 二四	第一〇回全日本アイスホッケー女子選手権大会で岩倉ペリグリンが三度目の優勝。
		三・ 一七	苦小牧トラックステーションがオープン。
		四・ 一	苦小牧川の親水空間が完成。
			石油資源開発が勇払油田の噴出量を天然ガス日量一七万八、〇〇〇m ³ 、天然ガソリン日量一四二ℓと発表。
		四・ 一八	・ 錦町再開発第一弾のホテルサンルートがノーザンコアに売却。
		四・ 一五	統一地方選の道議苦小牧市部の定員三人となり、大平盛雄、橋浪蔵、板谷實が当選。
		四・ 一五	本園と分園を統合して新築移転の市立はなぞの幼稚園が入園式行う（落成式六月三日）
		四・ 一五	・ 錦多峰浄水場の取水池一基が供用開始、貯水能力が一二時間に。
		四・ 二二	統一地方選の市長選挙で鳥越忠行現市長が無投票当選決定。
		四・ 二一	統一地方選第二弾、市議会議員選挙で三六人が当選。
		五・ 二〇	新千歳空港周辺地域開発推進協議会設立し、苦小牧市も参加する。
		五・ 一八	札幌入国管理局千歳・苦小牧出張所が開設（苦小牧出張所は昭和四五年九月一日開設）。
		六・ 三	トヨタ自動車北海道が地鎮祭行う。
		七・ 三	苦小牧市が市役所前の経緯度標の除幕式行う。
		八・ 一	苦小牧観光協会が社団法人となる（七月三〇日記念式典）。
		八・ 二八	苦小牧市防犯協会（小島啓道会長）が発足。
		八・ 三	・ 苦小牧市のマイタウン活性化推進事業がスタート。
		八・ 三	ソ連のクーデターに遭遇、モスクワで強化合宿中の王子製紙アイスホッケー部一行が無事帰苦。
		八・ 三	苦小牧営林署が丸山遠見の望楼改修工事を完了（九月三〇日バス乗り入れ開始）。

平成 三年 一九九一

11・29 11・27 11・13 11・12 11・1 10・31 10・29 10・28 10・27 10・25 10・20 10・8 10・1 9・28 9・14 9・6 9・5 9・2

シンボルストリート工事の安全祈願祭をサンブラザ駐車場で行い着手する。
沼ノ端コミュニティセンターの建設工事始まる。
苫小牧市が市内に居住する留学生に市営バス無料乗車証を交付。
宇宙開発事業団が苫東基地内で小型固形ロケットモーター衝突実験を開始。
トヨタ自動車北海道が操業開始。
・苫小牧一条銀座商店街振興組合は、昭和四九年から一七年間実施してきた「歩行者天国」を取り止める。
函館検疫所室蘭支所苫小牧出張所が小樽検疫所苫小牧支所に昇格。
・第二電電（DDI）は苫小牧営業所を錦町に開設、九日からサービス開始。
・北電苫小牧営業所が同支店に昇格。
市内高丘に移転運営されている樽前山神社の上棟式行う。
苫小牧港西港の中央北ふ頭の公有水面の埋め立て作業が完了、ふ頭用地造成に着手。
市民文化公園に「ロックガーデン風の枯れ山水」完成。
苫小牧西高校の校舎改築落成記念式典を行う。
苫東柏原工業地区の苫東パークレストラン「オークベル」オープン。
市内弥生町の市営住宅団地で整備を進めていた景観改善事業の第一弾が完成。
苫小牧港西港勇払ふ頭のコンテナヤードの拡張工事完了、十一月一日から供用開始。
苫小牧市が在宅老人向けの給食宅配サービス開始。
・環境庁は野鳥の聖域・ウトナイ湖を正式にラムサール条約登録湿地にすることを告示
ウトナイ湖の国特別保護地区指定期間を二〇年間延長する。
・苫小牧国際交流関係団体連絡協議会が設立。
苫小牧市緑ヶ丘公園陸上競技場が日本陸上競技連盟の三種公認施設の検定に合格。
苫小牧テクノスパーライナー（TSL）誘致促進期成会（会長・鳥越市長）が発足。
オートリゾート樽前が第三セクター設立（資本金一億五、〇〇〇万円）。
・苫小牧港西港中央北ふ頭一号東岸壁（二四〇m）の建設工事完了。
苫小牧港東港東ふ頭二号岸壁（二四〇m）の建設工事完了。

年 号	西 暦	月 日	で き ご と
平成 三年	一九九一	12・12・7・6	ウトナイ湖の水位保全のための勇払川の堰（せき）基礎部分が完成。 苫小牧市が歩行空間として整備を進めていた豊川町の「とよかわの道」「なかよしこみち」、桜木町の「北星の道」が完成。 市の住吉証明取扱所が消防出張所から住吉ライプリーセンタールに移る。 錦西ニュータウン（錦岡）、みどり野（有珠の沢町）に地区計画実施。 シンボルストリートの第一弾「一番街」（二三〇m）の完成式行う。 苫小牧港東港の東防波堤（延長四、七五〇m）突堤部分の灯台が完成。 王子製紙はアイスアリーナ建設予定地として若草町の用地を市に提供すると発表。 ウトナイ湖のラムサール条約登録湿地の国際登録認定証交付式を苫小牧市で行なう。 ・第四一回全国高校スケート選手権大会のアイスホッケーで駒大苫小牧高が三年連続二回目の優勝、スピード女子も二年ぶり一三回目の優勝。 ・錦大沼公園駐車場にログハウスの管理人詰所が完成し、使用開始する。 ・苫小牧市アイスアリーナ建設検討委員会（委員長中澤啓次・一七人）発足。 ・木材埠頭の埋立地に建設した西港公共岸壁中央北埠頭一号東岸壁が供用開始。 全日本アイスホッケー女子選手権大会で、岩倉ペリグリンが二年連続四度目の優勝。 苫小牧港のフェリー旅客累計が一、〇〇〇万人達成、就航二〇年目の節目を飾る。 苫小牧オートリゾートが正式名称を「オートリゾート苫小牧」とし、愛称を「アルテン」と決める。
平成 四年	一九九二	1・12・12・12・12・12・17・28・24・15・13・9	
		1・29	北海道開発局がまちのシンボル表示（カントリーサイン）として「樽前山とアイスホッケー」を苫小牧のシンボルとして国道に設置始まる。 第五九回全日本アイスホッケー選手権大会で王子製紙が二七度目の日本一となる。 市内小学校二〇校（一万四、二二一人分）の学校給食に地元産ホタテが入ったシーフードカレーライスが登場。 石油資源開発が勇払南試験場で天然ガス産出に成功。
		2・20・2・11・2・2	
		3・1	
		3・11・3・8	
		3・22	

平成 四年	一九九二	
3 ・ 26	3 ・ 28	4 ・ 1
4 ・ 26	4 ・ 23	4 ・ 26
5 ・ 26	6 ・ 15	6 ・ 23
6 ・ 23	6 ・ 15	7 ・ 27
7 ・ 1	7 ・ 23	7 ・ 23
	7 ・ 14	7 ・ 23
	7 ・ 25	8 ・ 1
	8 ・ 12	8 ・ 23
	8 ・ 1	8 ・ 23

苦小牧市錦大沼公園内のオートリゾット苦小牧のセンターハウスが完成。

勇弘川改修工事で進めていたウトナイ湖の水位を一定に保つウトナイ堰（せき）が完成

室蘭赤十字センター苦小牧地区供給センターがオープン。

・苦小牧市が住民情報オンライン推進準備室、アイスアリーナ建設準備室、資源リサイクル推進室を設置。

・苦小牧市農業協同組合は呼称を「JA苦小牧」に変更。

明野中学校が開校（市内一三番目の中学校）。

苦小牧川下流の国道三六号沿いにハクチョウをイメージしたモニュメントを設置。

市内高丘の金太郎の池東側に完成したレストハウスオープン、池に錦ゴイを放流し、記念植樹を行う。

苦小牧市アイスアリーナ検討委員会が鳥越市長に答申書提出。

苦小牧港東港の東ふ頭二号岸壁が供用開始。

苦小牧市議会は新千歳空港二四時間運用に関する決議を全会一致で可決。

苦小牧港が骨粉、皮粉などの指定検疫物輸入港（動物検疫港）に指定。

新千歳空港ターミナルビル開業。

・新千歳空港ターミナルビル内に苦小牧観光協会「ゆのみnonono」がオープン。

・道道新千歳空港線（苦小牧市道美沢新千歳空港線）が舗装して開通。

・新千歳空港新ターミナルの開業で道南バスが一二往復、市営バスが三往復乗り入れ。

樽前山神社が新社殿遷座奉祝大祭を行う。

JR苦小牧駅南口に「苦小牧ニュースステーションホテル」がオープン。

・苦小牧地区魚の日・青果の日設定協議会が消費物価の安定から同設定協議会を解散。

市内樽前の錦大沼公園内にオートリゾット苦小牧（アルテン）オープン、センターハウスで記念式行う。

宇宙開発事業団が苦東で小型固体ロケットモーター衝突実験を行う。

苦小牧港フェリーターミナルのシャシー駐車場拡張工事が完成し供用開始。

高丘運動公園の金太郎の池の「八つ橋」が完成。

苦小牧港西港晴海ふ頭二号岸壁（二四〇m）の建設工事了完了。

年 号	西 暦	月 日	で き ご と
平成 四年	一九九二	8 ・ 25	道央テクノポリス開発機構が四年四カ月をかけて一八億円の基金造成を完了。 苫小牧市は苫東大規模工業開発計画に地元の見解を反映させるため市民一五人による「開発推進懇談会」を設置。 ・高丘の金太郎の池周辺整備で「子供冒険広場」の階段造成工事完成。 交通死亡事故の多発で苫小牧市は「交通死亡事故非常事態」を宣言。 苫小牧港西港晴海ふ頭に新設した水深一二mの二号岸壁が供用開始。 ・カウボーイ（本社札幌）が市内糸井に進出を表明。 苫小牧市と苫小牧市社会福祉協議会が在宅老人向け給食宅配サービスを市内錦岡、樽前など西部地区にも拡大する。 第六〇回全日本アイスホッケー選手権大会で王子製紙が二連覇二八度目の優勝。 いすゞ自動車北海道工場がアメリカの現地生産工場向けV6エンジンの出荷を開始。 ・市内元町の沿岸で座礁したブラジルタンカー「メリティール」が六日ぶりに離礁に成功、二七人の乗組員は全員無事。 沼ノ端コミュニティセンターの落成式行（二一日オープン）。 沼ノ端消防出張所併設の市沼ノ端証明書取扱所を沼ノ端コミュニティセンターに移す。 千歳川放水路事業について道開発局や道、関係市町で協議する「千歳川放水路連絡協議会」設立。 苫小牧体育協会の法人化が認可、「財団法人苫小牧体育協会」となる。 市内錦岡のJR室蘭本線で中学三年生男子がはじめを苦に飛び込み自殺はかる。 新千歳空港周辺拠点都市地域整備推進協議会が発足し、二次指定を目指す。 市教育委員会が、はじめによる自殺事件で臨時校長会を開き、子どもに心にくい込む指導を指示する。 苫小牧港西港勇払ふ頭コンテナヤード（荷さばき地）が供用開始。 シンボルストリート二期工事完成（王子通り、娯楽場パーク間・二一〇m）を祝うオーブニングセレモニー行う。
		9 ・ 25	
		9 ・ 28	
		10 ・ 1	
		10 ・ 2	
		10 ・ 5	
		10 ・ 10	
		10 ・ 11	
		10 ・ 15	
		11 ・ 1	
		11 ・ 20	
		11 ・ 30	
		12 ・ 7	
		12 ・ 10	

平成 四年	一九九二	平成 五年	一九九三
12・15	12・25	1・16	1・19
		1・23	1・26
		2・3	3・11
		3・20	3・21
		3・23	3・25
		4・1	4・9

樽前山神社旧社殿で社殿解体安全祈願祭が行われ七〇年の歴史に幕。
 ・苦小牧市設小売市場対策検討懇話会（佐々木浩会長）が本町、音羽町を廃止、しらかば町を民営化の提言書を市長に提出。
 ・苦小牧警察署の新庁舎が完成。
 苦小牧港の指定検疫動物に生体が追加される。
 苦小牧市は、ごみステーション設置要領を見直し一五世帯に一カ所とする。
 苦小牧市の人口が一六万五、〇〇〇人となる。
 動物検疫所小樽出張所胆振分室が供用開始。
 ・第四二回全国高校スケート選手権大会が三〇年ぶりに苦小牧で開幕。
 第四二回全国高校スケート選手権大会のスピードスケート女子団体が駒大苦小牧高が二年連続一四回目の優勝。
 苦小牧港の沖で停泊していたリベリア船籍の貨物船「ノード・ホープ号」が強風を受け市内元町の海岸に流されて座礁。
 苦東基地開発推進懇談会が、地元意見づくりの参考とする提言書を鳥越市長へ提出。
 ・新千歳空港の国際エアカーゴ二四時間運用に係わるテストフライトを三週間の予定で開始。
 座礁船「ノード・ホープ号」の撤去作業始まる（五月二三日四ヶ月ぶりで離礁）。
 苦小牧港西港漁港区の南防波堤物揚げ場が完成。
 市内川沿町の道道苦小牧環状線が完成、二二日から一般開放。
 新千歳空港の国際エアカーゴ基地構想の二四時間運用に伴うテストフライト終了。
 石油資源開発が市内沼ノ端の試掘場で天然ガス産出テストに成功。
 裁判所合同庁舎が完成、札幌地方裁判所苦小牧支部、札幌家裁苦小牧支部が新設。
 ・十条製紙と山陽国策パルプが合併した「日本製紙勇払工場」が誕生。
 ・苦小牧市が「グリーンプラン21」の向こう一〇年間の長期プランをスタートさせる。
 昭和五五年に不良資産の清算会社になった岩倉組が全負債の清算を終え会社解散の手続きを完了、旧岩倉組の名称に幕。

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
平成 五年	一九九三	4・24	苫小牧港が開港三〇周年を迎え、第一船の入港を記念して午前九時半に花火を打ち上げ在港船が一斉に汽笛吹鳴、また港公園で殉職者の慰霊祭を行う。
		5・1	苫小牧市の完全週休二日制スタート。
		5・7	啓北中学校山なみ分校が新校舎移転改築落成記念式典行う。
		5・18	苫小牧市が「グリーンフルプラン」事業の一環として五年計画の桜並木づくりを緑ヶ丘公園でスタート。
		5・18	市錦多峰取水池でアオミドロが大発生、一〇日以上取水ストップする。
		6・1	苫小牧市はごみの減量化と抑制、リサイクルを推進するため、全面改正した「市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を施行。
		6・3	新千歳空港B滑走路建設工事に着手。
		6・15	苫小牧市資源リサイクル団体協議会が発足。
		6・21	トヨタ自動車北海道がオートマチックトランスミッション（自動変速機）の生産を開始し、全面操業となる。
		7・8	市内錦岡のJ R室蘭本線錦岡駅近くで貨物列車に市内女子中学生飛び込み自殺。
		7・18	市立総合病院で見舞いの祖母に同伴した生後一〇カ月の乳児が清拭車から流出した熱湯を浴び全身やけどで死亡。（平成六年三月二十五日示談成立）
		7・30	市教育委員会がいじめ防止に取り組むため「いじめ根絶対策特別委員会」を設置。
		8・6	オートリゾート苫小牧（アルテン）のコテージオープン。
		8・17	市が高齢化社会に対応した緊急通報システムを独居老人等一〇〇世帯で稼働開始。
		8・21	・地方拠点都市整備法に基づく「地方拠点都市」（苫小牧、千歳、恵庭、白老、早来、追分、厚真）に指定される。
		9・1	苫小牧市が整備を進めていた市民文化公園が全面完成（総工費約八七億円）、完成記念式典行う。
			苫小牧市がホームヘルパーサービス事業の一環としてパートヘルパー登録制度をスタート。

9・6 9・7 9・26 10・1 10・13 10・14 10・22 11・1 11・5 11・8 11・25 12・1

トヨタ自動車北海道（工藤末志社長）が工場竣工式行う。
北海道は国の新計画に沿って苦東の開発を見直し、「学・住・遊」の複合開発を目指す基本方針をまとめる。
苦小牧港西港の石炭ふ頭から最後の石炭積み出し船「仁童丸」が出港し、石炭ふ頭の歴史を閉じる（昭和三十八年四月二十五日初出航）。
王子製紙と神崎製紙が合併し「新王子製紙」が誕生。
・緑ヶ丘公園丘陵部のチビツコ冒険広場にジャンボ木製遊具が完成。
・苦小牧市は在宅高齢者を対象とした給食宅配サービスを全市に拡大。
外貿コンテナ基地に生まれ変わる苦小牧港西港の石炭ふ頭で石炭荷役施設の解体作業始まる。
北ガス（札幌）が平成八年から勇払産の天然ガスをパイプラインで運び供給したいと発表。
土日型ディスカウントストア、カウボーイを核店舗にした糸井の大型商業集積施設「苦小牧パワーセンター」オープン。
錦岡鉄北第一地区に第一三次住居表示が実施され美原町、青雲町、宮前町、明徳町、のぞみ町、もえぎ町が誕生。
・連合苦小牧が発足。
石油資源開発が天然ガスパイプラインの敷設ルート（南勇払基地く広島町大曲間）七三・四kmを発表。
苦小牧市「人間環境都市宣言」記念制作のブロンズ像「緑の環」が二〇年ぶりに柏原の国道二三五号沿いに建立される。
丸井今井が苦小牧駅前東側の用地を国鉄清算事業団より取得、苦小牧進出を発表。
新千歳空港二四時間運用をめぐり苦小牧市地域協議会が九四億円の騒音対策と植苗地区にファミリーセンター、勇払地区に運動公園、沼ノ端地区に屋内スケート場の建設等の地域振興策に同意する。
市営バスが運行していた支笏湖線の中央バスへの引継ぎ式をサンプラザ前で行う。

年 号	西 暦	月 日	で き ごと
平成 五年	一九九三	12・6	市のシンボルストリート、志方カメラ前から鶴丸百貨店前までの二一〇mが完成、完成式を行う。
平成 六年	一九九四	12・20 1・26 2・11 2・26 2・22 2・25 2・28 3・1 4・1 4・7 4・8	苦小牧港西港晴海ふ頭三号岸壁（一七〇m）の建設工事完了。 第四三回全国高校スケート選手権大会のアイスホッケーで駒大苦小牧高が二年ぶり一三度目の優勝。 市消防本部に高規格救急車配備。 新王子製紙（現王子製紙）がアイスホッケー日本リーグで三年ぶり一三度目の優勝。 苦小牧市交通部が全国初の試みとして市営バス車体にカラーシールの広告を施したバスを市内路線に走らせる。 苦小牧港西港漁港区の浮き桟橋が完成、三月三日から供用開始。 ・苦小牧港が食糧庁のコメ輸入港に追加指定される。 リレハンメル五輪スピードスケート女子五、〇〇〇mで山本宏美（駒大苦小牧高出・新王子製紙）が銅メダル獲得。 錦町再開発ビル「トピア」が再び閉鎖。 ・第一三回全日本アイスホッケー女子選手権大会で岩倉ペリグリンが五回目の優勝。 ・一八年がかりで会社更生法の手続きを終決した株式会社ホクシーが新たな第一歩を踏み出す。 苦小牧川の埋立て部分が廃川となる（北海道告示第二七九号）。 ・苦小牧港西港晴海ふ頭三号岸壁供用開始、利用岸壁は三一カ所となる。 ・市営バスが支笏湖ターミナルを売却。 市営バス厚真線廃止。 ・苦小牧市が福祉事務所内に高齢化対策室を新設。 明野小学校が開校（市内二一番目）。 市民文化公園の彫刻の道に三基のブロンズ像（第一弾）を設置。 ・住吉児童センターオープン。

平成 六年 一九九四

4 ・ 21	6 ・ 6	6 ・ 7	6 ・ 10	6 ・ 23	7 ・ 1	8 ・ 4	8 ・ 9	8 ・ 16	8 ・ 23	8 ・ 29	9 ・ 1	9 ・ 12	9 ・ 21	9 ・ 22	10 ・ 23	11 ・ 7	11 ・ 8	11 ・ 25	12 ・ 1	12 ・ 3	12 ・ 5	12 ・ 10
国際エアカーゴの新千歳空港二四時間運用問題が決着、知事・市長・住民代表が調印。 駒大苫小牧短期大学が男女共学導入を発表し、同七年度より実施。 苫小牧市の初の公募型指名競争入札が行われる。 苫小牧市が社会福祉協議会・女性センターの正式名称を「市民活動センター」愛称を「ふれあい三三」と決める。 国際エアカーゴに伴う新千歳空港の二四時間運用スタート。 オトリゾート苫小牧（アルテン）のレストハウスがオープン。 苫小牧測候所観測史上最高の気温三三・二℃を記録（昭和二十一年八月二日三〇・九℃）。 連日の猛暑で苫小牧市の一水道配水量が六万六、〇六〇tと記録更新。 JR錦岡駅舎の内部全焼する。 苫小牧市はアイスアリーナ新築工事の公募型入札を行い、戸田建設、岩倉建設、菱中建設のJVが落札。 丸井今井苫小牧店が地鎮祭を行う。 苫小牧港西港の中央ふ頭に建設された道内初の製材上屋が供用開始。 アイスアリーナ建設着工（総工費約五一億円）。 苫小牧市が個人情報保護制度懇談会を設置。 苫小牧市がカルチャーストリートを汐見町まで延長、ふるさと海岸に運動を決める。 苫小牧市民活動センター（社会福祉協議会、女性センターの複合施設）がオープン。 苫小牧信用金庫川沿支店がオープン、市内一六カ所目の支店。 苫小牧市社会福祉会館（旧苫小牧郵便局）の解体始まる。 樽前小学校が道内で一三校目の特認校に指定される。 火災で焼失したJR錦岡駅の新駅舎オープン。 ・苫小牧港西港中央南ふ頭二号岸壁（二四〇m）が完成し供用開始、沖待ち解消へ。 苫小牧駅前シンボルストリートモニュメントの完成式行う。 廃川となった旧苫小牧川跡地の埋め戻し作業が完了、来年度から緑地帯整備へ。 駅前通りシンボルストリート整備が国道三六号までの全線八〇〇m完成。 ・苫小牧港フェリーターミナルが増改築工事を完了しオープン。																						

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
平成 六年	一九九四	12・15	市長、市議会議員の選挙運動公費負担に関する条例が市議会で可決。
平成 七年	一九九五	1・6	第六七回日本学生氷上競技選手権（インカレ）が苦小牧市で開幕。
		1・10	苦小牧市の沼ノ端鉄北土地区画整理事業が完了。
		1・16	アイスホッケー全日本選手権で新王子製紙（現王子製紙）が四連覇三〇回目の優勝。
		1・19	J R日高本線の勇払地下歩道が完成、開通式を行う。
		1・23	第四四回全国高校スケート選手権大会のアイスホッケーで駒大苦小牧高が二年ぶり一四度目の優勝を飾る。
		2・1	苦小牧信用金庫が懸賞金付き定期預金「飲び二重奏」を発売。
		2・9	第一五回全国中学校スケート大会のアイスホッケーで和光中学校が三度目の優勝。
		2・20	沼ノ端拓勇樹林地区（字沼ノ端二一六番地外三二 ^ハ ）が新たに市自然環境保全地区に指定。
		3・4	第一四回全日本アイスホッケー女子選手権大会で岩倉ベリグリンが六回目の優勝。
		3・16	苦小牧市が錦岡オーシャンヒルズ地区、グリーンヒル地区、ザ・スプリング高丘地区を地区計画に指定。
		4・1	・苦小牧市が個人情報保護条例制定。
		4・9	苦小牧市立総合病院が神経内科を新設。
		4・16	統一地方選の道議苦小牧市部で板谷實、大平盛雄、橋浪蔵が当選。
		4・22	苦小牧市長選挙に現職の鳥越忠行市長が無投票で三選決まる。
		4・23	市内緑ヶ丘公園金太郎の池周辺の施設に大型ローラー滑り台（二〇m）が初登場。
		5・17	統一地方選挙第二弾、市議会議員に三六議席に三九人が立候補、投票率は史上最低の六三・七％。
		4・25	苦小牧港が米の輸入港に正式に指定される。
		4・28	苦小牧市教育研究所の子ども相談電話「いじめ一〇番」がスタート。
		5・17	苦小牧市助役二人制が復活する。

平成 七年 一九九五

5	6	6	6	7	8	8	8	8	9	9	9	9	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	12
18	8	9	12	1	21	22	21	21	1	31	1	4	12	5	9	11	12	25	31	1	5	18	21

苫小牧市議会が大学誘致特別委員会を廃止。
北海道開発庁が苫東新計画案を提示。
鳥越市長がテクノプラザセンターの建設地を苫東にする考えを表明。
苫小牧市個人情報保護審査会が発足。
苫小牧市個人情報保護条例施行。
第一七回全国中学校軟式野球大会に出場の啓北中学校が三位に入賞。
北海道開発庁が苫東新計画を決定。
新王子製紙苫小牧工場が清水町に新王子球場完成。
丸井今井苫小牧支店オープン、初日三万人が来店。
・日新ショッピングモール(第二種大型店)が着工。
若草町へ移転する王子総合病院が地鎮祭を行う。
・苫小牧糸井郵便局が苫小牧しらかば郵便局と改称。
超高速船テクノスパーライナー(TSL)実験船が苫小牧港西港に初入港。
苫小牧市が人口一七万都市となる。一七万人目は本野翔平ちゃん。
スポーツ都市宣言三〇周年を記念したスポーツマスターに引木孝夫(アイスホッケー)
鈴木秀太(バスケットボール)、高沢秀昭(野球)。
北海道教育委員会はブライバシー保護の立場から入試合格者発表は番号のみと決定、苫
小牧市内の高校でも実施されることになる。
出光興産は石油資源開発が市内で生産する原油を全量引き取することに合意。
苫小牧東部開発が苫東の「工業基地」を「開発地域」と改称。
・旧苫小牧川の緑地整備事業に着手。
豊川町と柏木町間の「木もれびの道」全線三、二六〇mが完成。
糸井鉄北地区の一部に住居表示実施、はまなす町、宮の森町が誕生。
ウトナイ湖畔のウトナイレイクホテルが閉鎖。
石油資源開発が、あけぼの試掘場でガス産出に成功。
道立苫小牧病院が新築オープン、呼吸器系専門病院となる。
苫小牧中央訪問看護ステーションがオープン。

年 号	西 暦	月 日	で き ごと と
平成 七年	一九九五	12・ 12・ 12・ 12・ 13	市道二条通りがコミュニティ道路として今年度分五二三mが完成。 苦小牧市カルチャーストリート事業の今年度分国道から二一〇m完成。 石油資源開発の勇払鉱場（天然ガス生産、供給基地）完成。 市長資産等の公開に関する条例施行。 苦小牧市が企画調整部に大学誘致推進室を新設。 アイスアリーナの正式名称を「白鳥アリーナ」と決定する。 石油資源開発が西港臨海部の天然ガス供給基地の勇払鉱場の試運転開始。 第六三回全日本アイスホッケー選手権大会で新王子製紙が五連覇三一回目の優勝。 石油資源開発勇払鉱場が苦小牧産原油を出光興産北海道製油所へ四八ℓ初出荷。 第四五回全国高校スケート競技選手権大会で駒大苦小牧高がアイスホッケーで三連覇、 通算一五回目の優勝。 苦小牧市は白鳥アリーナの管理、運営を財団法人苦小牧市体育協会に委託する方針を明らかにする。 駒澤大学理事会在が短大改組の苦小牧駒澤大学を承認。 第一五回全日本アイスホッケー女子選手権大会で岩倉ペリグリンが三連覇、通算七回目の優勝。 市内勇払の書店で経営者の妻が殺される。 樽前緑樹園が市内で初の痴ほう性老人専用デイサービスセンターをオープン。 勇払の書店経営の主婦殺人容疑で市内中学三年男子を逮捕、教育界に衝撃。 苦小牧市制施行五〇周年記念事業等市民委員会が市制施行五〇周年記念事業構想をまとめ、二一日に市長へ答申。 石油資源開発が天然ガス生産供給基地「勇払鉱場」の竣工式行う。 ネーピア親善訪問団・音楽交流団がネーピア・ミューニシバルシアターで親善演奏会を開く。
平成 八年	一九九六	1・ 1・ 1・ 1・ 1・ 1・ 1・ 12・ 12・ 13	
		3・ 26	
		3・ 19	
		3・ 13	
		3・ 3	
		3・ 1	
		2・ 26	
		2・ 25	
		2・ 21	
		2・ 16	
		1・ 23	
		1・ 17	
		1・ 15	
		1・ 11	
		1・ 6	
		1・ 1	
		12・ 31	
		12・ 18	
		12・ 14	
		12・ 13	

第八編 年 表

平成 八年	一九九六	
3・29	3・30	4・1
4・10	4・16	4・18
4・19	4・26	4・29
5・1	5・8	5・10
5・19	5・29	6・4
6・10	6・14	6・21
7・5	7・23	7・28
旧苦小牧川跡地に散策路とアンダーパスが完成（九五年度分）。 ・樽前山の噴火に備え覚生川第三号砂防ダムセル（円筒）工事完成。 新王子製紙と本州製紙が一〇月一日をめどに合併すると発表、新会社名は「王子製紙」 ・市内本町の公設市場「本町ショッパーズ」が閉鎖。 ・昭和三十九年九月開館の室内スケート場の「岩倉体育館」が役目を終えて閉館。 大成こども交流館が開館。 ・苦小牧市など胆振東部一市六町が「災害時広域相互応援協定」に調印。 苦小牧市勇払下水処理場の管理本館が完成。 苦小牧市と八王子市、日光市の姉妹都市が災害相互応援協定を締結。 苦小牧市体育協会が白鳥アリーナ管理運営の受託承認を道教育委員会から受ける。 記録的なトカ雪に見舞われた苦小牧の今年度の総降雪量は一八三cm。 新千歳空港B滑走路（約半分が苦小牧行政区域）が供用開始。 ・日新ショッピングモールに第一弾として「B―TOP―」開店。 苦小牧市史編集事業に着手、市史編集事務局を中央図書館内に開設。 トヨタ自動車北海道が自動変速機五〇万基、アルミホイール一五〇万本、トランスフ ー一〇万台の生産を達成し節目を祝う。 ・札幌南警察署が苦小牧市内の女子中学三年生を覚せい剤取締法違反の疑いで逮捕。 通産省と建設省が二一世紀活力圏創造基本計画で苦小牧地域を認定。 第二三回緑ヶ丘公園まつりが緑ヶ丘公園から金太郎池周辺に会場を移して開催。 苦小牧、千歳、恵庭の三市が「災害時相互応援協定」調印。 苦小牧市水道部が「おいしい水の見学会」を行い、市民一五〇人が参加。 苦小牧市の住宅マスタープラン策定委員会が発足。 苦小牧市学校適応指導室「あおば学級」が旧市長公宅に開設。 テクノスーパライナー（TSL）事業化支援調整委員会が発足。 苦小牧市の駒澤大学への支援額五三億円で駒大側と基本合意。 苦小牧市行政改革推進懇話会（鈴木祥且委員長）が発足。 苦小牧市の新霊葬場が総工費一九億円の道内三番目の規模で着工。		

年 号	西 暦	月 日	で き ご と
平成 八年	一九九六	7・23 7・25	苦小牧市議会が苦小牧駒澤大学設置に関する議案を全会一致で可決。 苦小牧市の新ごみ処理施設が沼ノ端地区で着工、総事業費一六九億円。 ・駒澤大学が「苦小牧駒澤大学」開学を正式決定、学長予定者は大久保治男（大学設置準備委員長）。
		7・26	新千歳空港の二四時間運用に伴う地域振興基金の平成八年度分の配分で苦小牧は一、三〇〇万円と決まる。
		7・27 7・29	苦小牧市が「〇―157苦小牧市緊急対策本部」を設置。九月三〇日解散。 被爆地広島へ小中学生派遣団八人が出発、三日まで。
		8・6	苦小牧市と駒澤大学が「苦小牧駒澤大学」開学協定書に調印。
		8・26 8・28 8・29	丸井今井苦小牧支店が「苦小牧店」と改称。 第六七回都市対抗野球で新王子製紙苦小牧がヤマハ（浜松市）に初戦敗退。 白鳥アリーナ完成オープン、総工費五一億円。
		9・1 9・2 9・3	・苦小牧市都市景観委員会（上田陽三座長）が発足。 新千歳空港二四時間運行対策事業の勇払地区の「友たち公園」が完成。 王子製紙軽便鉄道「山線」が四〇年ぶりに帰郷（五日に帰還式行なう）。
		9・23	九月一日に発生した市内西部地区の水道水異臭問題で液体肥料の投棄が原因と判明、市は給水車を緊急配備。
		10・1 10・2	スポーツ都市宣言三〇周年記念式典を総合体育館で行う。 新王子製紙と本州製紙が合併し新生「王子製紙」が誕生。
		10・4 10・15	苦小牧市議会が駒澤大学財政支援の資金確保のため法人市民税アップを可決、平成九年二月の事業年度から一〇年間で実施。 錦多峰川上流と下流の市取水場を結ぶ導水管延長工事が完了。 鳥越市長が中国・秦皇島市から帰苦、友好都市締結への覚書を趙市長と交わしたことを明らかにする。

[illegible]

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
平成九年	一九九七	3・27 4・1	苦小牧オートリゾート（アルテン）で温泉（四九度）を掘り当てる。 苦小牧市消防署の「消防緊急システム」が稼働開始。 ・苦小牧市花卉市場オープン。 ・苦小牧港国際コンテナターミナル供用開始。 ・市はゴミの分別収集をスタート。 ・日新児童センター開館。 勇払下水処理センターの通水式行い、供用開始。 ・新王子総合病院の竣工式行う（六日より業務開始）。 苦小牧港西港の国際コンテナターミナルに第一船が入港し供用開始。二二日完成式。 ホテルニュー王子がミネラルウォーター「支笏の秘水」を発売開始。 市制五〇周年記念事業の緑ヶ丘展望台の工事始まる。 胆振支庁の出張窓口が市役所二階に設けられパスポート事務を開始（週二回）。 植苗ファミリーセンター一部オープン。 市制施行五〇周年記念を推進する官民組織「とまこまい市制五〇周年実行委員会」設立。 苦小牧市文化財保護委員会が発足。 市糸井清掃センターの「苦小牧市資源化施設」の開所式、稼働開始。 ・苦小牧市文化交流センター（公民館）が着工。 第六八回都市対抗野球大会出場の王子製紙は一回戦で明治生命に敗れる。 オートリゾート苦小牧の露天風呂「樽前温泉」がオープン。 石油資源開発が西港臨海部の清水鋼鐵苦小牧製造所への天然ガスパイプライン完成式を行なう。 植苗ファミリーセンターの落成式行なう。 宇宙開発事業団が養鶏場のヒナ大量死にともないロケット開発実験を断念。 苦小牧市がインターネットのホームページを開く。 苦小牧市・ネーピア市姉妹都市音楽交流実行委員会発足。
		4・2 4・4 4・5 5・22 6・3 6・7 6・10 6・11 7・1 7・18 7・20 7・30 8・10 8・27 9・12	

1723

年 号	西 暦	月 日	で き こ と
平成一〇年	一九九八	4・4・10 5・25 6・12 6・14 7・6 8・6 8・19 8・31 9・1 10・1 10・6 10・16 10・23 11・1 11・13 11・16 11・27 12・1 12・25 12・30 1・24	苦小牧市は保健福祉部に介護保健事務局を設置。 拓銀が苦小牧東出張所を閉鎖。 苦小牧市が第四次基本計画を策定。 新千歳空港の早朝・深夜の旅客便問題で関係地域住民が受け入れに合意。 苦小牧大学誘致期成会が苦小牧駒澤大学開学で目的を達成し解散。 日高自動車道の沼ノ端ICと厚真IC間一五・七km開通。 緑ヶ丘公園展望台（高さ四六メートル、市制五〇周年記念塔）の一般開放開始。 東胆振地域保健医療福祉協議会発足（会長島越市長）。 拓銀の破綻に伴い苦小牧市の指定金融機関に苦小牧信用金庫が市議会で議決。 苦小牧市制施行五〇周年記念式典を行い、中国秦皇島市と国際友好都市盟約締結。 ぼい捨て防止条例施行。 テクノプラザセンターが落成式を行なう。 宇宙ステーション「ミール」の一般公開開始。 第四回ラムサール条約登録湿地関係市町村会議を苦小牧市で開催。 苦小牧市文化交流センター落成記念式典行う。 北海道拓殖銀行閉店、北洋銀行に営業譲渡、旧拓銀苦小牧支店等引き継ぐ。 新生北洋銀行スタート、苦小牧中央支店等営業開始。 すずらん通りの再整備事業完成し開通式行う。 カルチャーストリートが未広通りまで完成し、全面開通する。 苦小牧市消防本部にレスキュー隊発足。 道がFAZ第二弾計画を正式に中止決定。 公設音羽シヨッパーズ閉店。 第四八回全国高校スケート選手権大会のアイスホッケーで駒大苦小牧高が六連覇一八回目的優勝。 市立総合病院改築検討懇話会が二〇〇五年までに改築との中間答申書を市長に提出。
平成一一年	一九九九	1・27	

平成二年	一九九九年
1・29	苦東プロジェクト推進検討会発足。
2・1	苦小牧市がゴミ収集体制を旧苦小牧川で東西に分割して業務を開始。
2・5	苦小牧港東港のフェリーターミナル完成式行う。
2・28	第一八回全日本アスィホッケー女子選手権大会で岩倉ペリグリンが六連覇、一〇度目の優勝。
3・18	鳥越市長が条件付で新千歳空港の滑走路延長を容認。
3・20	苦小牧市でも地域振興券の使用開始（九月十九日まで）。
3・23	苦小牧市情報公開審査会が初会合開く。
3・25	苦小牧市介護保険事業計画策定委員会が発足。
3・31	市は北海道エアフロントニアの自己破産に伴い出資金を放棄、派遣職員引き上げる。
4・1	・ 苦小牧市の市制五〇周年記念事業の閉幕式行う。 沼ノ端クリーンセンター・リサイクルプラザ苦小牧オープン。 ・ 沼ノ端児童センターが開館。
4・11	統一地方選の道議苦小牧市部で板谷實、沖田龍児、遠藤連が当選。
4・18	苦小牧市長選で鳥越忠行市長が無投票で四選。
4・25	統一地方選の苦小牧市議会議員選挙に四〇人が立起、三六人当選。
5・18	グランドホテルニュー王子がオープン。
6・3	千歳川流域治水対策検討委員会が総合治水対策を柱とする提言書を知事に提出。
7・1	モータップ新樽前荘オープン（二九日完成式）。
7・8	苦小牧港東港のフェリー（苦小牧―敦賀）運航開始。
7・25	第七〇回都市対抗野球大会に出場の王子製紙苦小牧が一回戦で東芝に破れる。
7・30	新会社「株式会社苦東」が登記手続きを終え設立（八月二日入社式）。
8・11	ふるさと海岸の一般利用を開始する。
8・20	市マイホーム建設促進特別融資制度がスタート。
9・8	苦東厚真発電所四号機の起工式行う。
10・1	苦小牧市消防本部の女性消防団発足。
10・4	苦小牧市介護認定審査会発足。

年 号	西 暦	月 日	で き ごと
平成 一二年	一九九 九	10・5 11・30	苦小牧市住居表示整備審議会（第一五次・中澤啓次会長）が発足。 市立総合病院改築検討懇話会は移転新築が必要と結論づけ、オーロラ球場跡地など三候補あげて市長に答申書を提出する。 市科学センターの「ミール館」オープン。 千歳信用組合が北央信用組合（本店札幌市）と統合し、市内支店はその傘下となる。 王子製紙苦小牧工場野球部が経営上から平成一二年八月までに春日井工場野球部に統合し廃部が決まる。 鶴丸百貨店がビック・ジョイ（旧トピア）のキーテナントとして入店を発表。 沼ノ端スケートセンターオープン、記念行事として市内中学選抜チームとカナダ中学生チームのアイスホッケー試合を行なう。 介護保険制度スタート。 苦小牧ステーションビルがJR直轄となり、ステーションビル㈱は解散する。 ビック・ジョイ（旧トピア）オープン。 衆議院議員選挙の道比例区で岩倉博文が当選。 廃部する王子製紙苦小牧工場野球部が第七一回都市対抗野球大会に出場、五〇年の歴史に花添える。 一条通りのアーケードの一部（一丁目）が撤去作業を開始。（三〇日作業終了）。 市内二三番目の小学校として「拓勇小学校」の新設決まる。 苦小牧東部開発市民懇話会が発足。 姉妹都市二〇周年記念苦小牧市民訪問団がネーピア市に到着。 胆振東部六農協が合併し、「とまこまい広域農業協同組合」となる。 苦小牧市まちづくり検討委員会スタート。
平成 一二年	二〇〇 〇	1・12 3・20 4・1 6・1 6・8 6・25 7・23 8・22 8・28 10・10 10・23 10・24 12・21	